

令和 5 年度		3 学年		普通 科	
教科名	地歴公民	科目名	日本史探求 I		4 単位
		担当者	鈴木 良		
1. 学習目標					
日本列島に人類文化が誕生してから国家として近代化されるまでの有様を、世界全体の動き、特に東アジアと関連させて考察し、私たちの祖先が残してくれた誇りうる歴史的遺産を認識するとともに、歴史から得た教訓を将来に生かす態度を養う。					
2. 使用教材等					
・教科書名		詳説日本史 B (山川出版社)			
・副教材名		最新 日本史図表 四訂版 (第一学習社)			
3. 学習項目 (学習内容)					
学期	月	単元・学習内容	学習の留意点 評価のポイント	時間数	考查
1	4 5	第 8 章 幕藩体制の動揺	幕政の改革、宝暦・天明期の文化、幕府の衰退と近代への道、化政文化	25	中間考查
	6 7	第 9 章 近代国家の成立	開国と幕末の動乱/明治維新と富国強兵/立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係/近代産	25	期末考查
2	8 9	第10章 二つの世界大戦とアジア	第一次世界大戦と日本/ワシントン体制/市民生活の変容と大衆文化/恐慌の時代 軍部の台頭/第二次世界大戦	25	中間考查
	10 11 12	第11章 占領下の日本	占領と改革/冷戦の開始と講和	25	期末考查
3	1 2	第12章 高度成長の時代	55年体制/経済復興から高度成長へ	40	期末考查
	3	第13章・総復習	経済大国への道/冷戦の終結と日本社会の動揺		
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度	人類の進化と文明社会の成立・発展について、各時代を概観しながら基本的諸事項を整理しているか。				
②思考・判断・表現	時間軸に沿って、歴史的事象とその背景にある人々の暮らしや社会の様子をイメージできるか。				
③技能	遺跡・遺物、文字史料、史跡などに残っている歴史の痕跡を正確に読みとり、わかりやすくまとめているか。				
④知識・理解	現代に生きる我々の立場から、歴史を俯瞰することの意義と限界を理解したうえで考察をしているか。				
5. 評価の方法					
・定期考查：	各定期考查および確認テストの得点 (日々の家庭学習の状況、基本的事項の定着度をはかる)				
・課 題：	授業前の準備、授業中の学習内容の整理、授業後のおさらいへの取り組み状況 (課題等の提出状況、達成度をみる)				
・授業態度：	出欠席・遅刻・早退など日々の授業への参加状況				
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
<ul style="list-style-type: none"> ・板書をプリントに写すことが基本になります。その際に白チョークの箇所は鉛筆 (シャープペン) で書いてください。黄色チョークの箇所は重要語句ですので、オレンジペンで書いてください。 ・その他、フリガナ・補足説明・先生が説明したことのメモなどは鉛筆やボールペンを使って書いてください。 ・オレンジペンで書いた箇所は高確率でテストに出題されます。赤シートで隠しながら繰り返し覚えましょう。 					